

法人名 一般財団法人 愛心会
事業所名 多機能型通所支援事業所 愛

支援プログラム
〈 放課後等デイサービス 〉

作成日 2025年2月14日

法 人 理 念		利用者様とご家族様の心情を受け止め、誠愛と真心をもった支援を展開します			
支 援 方 針		気管力ニューレや胃ろうの管理など、直接生命の維持に関する医療ケアを基調とした看護サービスの展開 発達過程に合わせたADL（日常生活動作）の促進をサポート 利用者様が安心できる環境の中で、のびのびと自分らしさを表現していけるような実り豊かな支援を目指します			
サービス提供時間		開校日放課後 14：00～17：00	学校休業日 10：00～16：00	送迎実施の有無	あ り
支 援 内 容					
本 人 支 援	健康・生活	・個別支援計画を元に医療ケア、心理ケアといった必要な支援を状況に応じて提供。日々の観察を通して小さな変化にも留意し、適切な対応に努める ・体熱の変化に注意し、手足浴を行うなどして血行を促進、冷えの改善に努める。同時にリラックスタイムの提供、感染症の予防効果、怪我や健康状態の把握に繋げていけるよう丁寧に行う			
	運動・感覚	・無理のない範囲で身体を動かし、楽しく活動に参加していけるよう支援する ・自らできることについてはサポートを控え、ボールを握る、ペンを持つなど時間を要しても可能な行為は、自分でできる喜びを感じてもらえるように励まし、日々継続することで運動能力の維持と自己肯定感の向上に繋げる ・上下肢のマッサージやストレッチを通して、変形予防や筋肉硬直を和らげ、機能維持を目指す			
	認知・行動	・五感を通して感じた喜び、驚き、嫌悪、寂しさといった感情を、言葉や身振り、表情を通じて、いつでも表現していけるような落ち着いた環境を提供する ・季節に応じた壁面や活動、音楽、散歩やピクニックなど、色や音、形、匂い、また様々な世界に触れることで内面的成長を促す			
	言語 コミュニケーション	・臆せずにコミュニケーションがとれる信頼関係の構築に努め、発語を促す ・言葉での表現が難しい場合には、表情やボディランゲージを通して自らの意思を発信していけるように導く。成長段階においては、日頃から丁寧な関わりを持つよう努め、発出されない気持ちを汲み取ることができるよう、心に依り沿った支援を目指す			
	人間関係 社会性	・思いやりと優しさを感じてもらえる穏やかな環境を提供し、安心できる場所で豊かな人間関係を築いていけるようサポートしていく ・職員は受容の姿勢を基本としつつも、矯正の必要な事柄については忍耐をもって向き合い、学びの機会を提供していけるよう努める			
家 族 支 援		養育の不安に寄り添えるよう、送迎時のコミュニケーションを密にするなどしてご家族との関係構築を心掛け、アンケートを通じて意見の収集や情報共有に努めている。	移 行 支 援	保護者の意向を尊重しつつ、関係団体と連携して進めている。また成人後の受入れとして法人同系列にて通所支援事業を展開しており、必要に応じてご案内している	
地 域 支 援		地域の関係施設と協力体制を築いている	職員の質向上	研修や実務において得た学びを共有し、新たな気づきや意識改革、よりよい支援の形を模索して質の向上に努めている	
主な行事等		季節行事、誕生会、感覚遊び、音楽遊び、水遊び、擬似遊び			